

匝瑳市民フォーラム21
協議報告書（提案書）

平成19年3月

匝瑳市民フォーラム21

はじめに

私たち『匝瑳市民フォーラム21』は、公募等により平成18年9月1日に発足し、以降、平成19年3月まで7回の会議を開催し、まちづくりに関する協議、意見交換を行ってきました。

現在、市では、平成18年度から19年度にかけて、市のさまざまな行政運営の基となる総合計画の策定が進められています。

この総合計画（案）には、八日市場市・野栄町合併協議会で作成された新市建設計画の基本方針が引き継がれ、まちづくりを行って行く上での“5本の柱”が盛り込まれようとしています。

5本の柱は、①生きがいに満ち笑顔があふれるまちをつくる（保健・福祉・医療分野）、②活気に満ち、はつらつとしたまちをつくる（産業・経済分野）、③自然と共生し、快適で安全なまちをつくる（生活環境・都市建設分野）、④個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる（教育・交流分野）、⑤住民と行政が連携・協働するまちをつくる（住民協働・行財政分野）といった5つの基本目標（テーマ）です。

このため、私たちは、総合計画の策定に向け、この5つのテーマに沿って協議、意見交換を行い、まちづくりに関するさまざまな提案を出し合い、ここに、本報告書（提案書）をまとめるに至りました。

私たちの提案が総合計画に反映され、匝瑳市のまちづくりの一助になれば幸いです。

そして、匝瑳市がこれからの厳しい時代を乗り越え、発展し、市民の誰もが住みよいまちとなるよう切望するものであります。

平成19年3月

匝瑳市民フォーラム21

目 次

1	生きがい満ち、笑顔があふれるまちをつくる	
	～保健・福祉・医療分野～	…… 3
2	活気に満ち、はつらつとしたまちをつくる	
	～産業・経済分野～	…… 6
3	自然と共生し、快適で安全なまちをつくる	
	～生活環境・都市建設分野～	…… 13
4	個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる	
	～教育・交流分野～	…… 16
5	住民と行政が協働し、市民が輝くまちをつくる	
	～住民協働・行財政分野～	…… 20
6	活動記録・委員紹介	
		…… 25

1 生きがい満ち、笑顔があふれるまちをつくる

～保健・福祉・医療分野～

介護保険対象者にならない行政活動の充実

高齢化の進展等に伴い、今後は社会保障費の増加が見込まれるため、これを抑えていく必要があります。

このため、高齢者の生活の質の向上を実現し、健康度、幸福度を高める取り組みが必要になってきます。そこで、高知県梼原町（ゆすはらちょう）の取り組みを参考にしていかがでしょうか。この町では、保健師を手厚く配置し、健康知識、体操、高齢者同士の交流の場を提供しています。

こうした健康づくり、健康維持活動を組織化し、元保健師、看護師、栄養士、調理師等の市民に奉仕参加していただくこととしていかがでしょうか。

医療体制の充実・強化

現在、匝瑳市、銚子市、旭市及び東庄町の3市1町では、東総地域医療連携協議会が設置され、東総地域の医療連携について協議されていますが、効果的かつ円滑な連携を期待しています。

地域における高度医療機器等の重複した配置を解消し、共同利用を推進することや、医師の確保が非常に厳しい状況にあることから医師の複数の医療機関におけるローテーション配置等、地域における医療資源の効率的な配分を行うこととしていかがでしょうか。

また、急性期から慢性期に至るまでの患者の流れに対応するとともに疾患の各段階や状態に対応した医療機能を各機関が分担することで、救急医療体制を含む医療体制の充実・強化を図り、さらには福祉サービスまでつながっていく循環型地域医療連携システムの構築を推進することとしていかがでしょうか。

なお、併せて、問題化している医師の偏在による地方の医師不足、地域格差を早期に解消し、医師の確保が適切に図れるよう国に積極的に要望していただきたいと思います。

「ローハスコンセプトビレッジ」の整備

老化防止、介護を要する人の減少のために、ホビークラフト文化を活かした新産業「趣味産業」の創設により都市との交流の中で地域活性化を図ってはいかがでしょうか。

このため、市役所北側とのさか望洋荘東側にある両市有地に「ローハスコンセプトビレッジ」を80～90戸造り、ホビー協会所属の趣味を持った人たちにその住宅を購入してもらい、本市民と交流するとともにホビー技術指導をしてもらい、全国初のローハスホビー市としてはいかがでしょうか。

「ローハス (Lohas)」

ローハス (ロハス) とは、**Lifestyles of health and sustainability** の頭文字をとったもの。

「健康や環境を重視した持続可能な生活様式」という意で、1998年の米国での研究から導き出されたライフスタイルのモデルが元になっている。日本には2002年に紹介され、使われ始めた。

「ホビークラフト (Hobby Craft)」

ホビーは、「創造する」、「遊ぶ」、「収集する」という分野において、創造活動、思索活動に没入して積極的に自由時間を過ごすことをいう。

クラフトは、手仕事による製作、手工芸のこと。

「ホビー協会」

社団法人日本ホビー協会。1976年設立。1986年に通商産業省（当時）から公益法人設立の認可を受ける。

設立以来ホビーの健全な普及啓発に努め、ホビー関連産業の発展と、豊かで充実した生活の実現を目的として、積極的な活動を展開。国内最大のホビーに関する団体として、ホビーに関する調査研究、情報の収集及び提供、普及啓発、国際交流の推進などに取り組んでいる。

日本最大のクラフトフェア「日本ホビーショー」を毎年、東京ビッグサイトで開催、今やさまざまなジャンルの関連商品・情報・活動が一同に結集した、ホビーのマーケットショーとして国内外から大きな評価を得ている。

介護者滞在型療養施設の整備

家族に要介護者がいると介護者は大変な苦勞を強いられると思われま

しかしながら、介護で毎日を費やすのではなく、人間らしい生活を送りたいというのが心情であると思います。

このため、介護者が滞在し就労や旅行なども可能な、介護者も被介護者ともに人間らしい生活を営むことができる療養施設を設置してはいかがでしょうか。

子育て支援制度の充実 ～若い世代の流入を～

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを図るため、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）づくりが求められています。

このため、「地域子ども教室推進事業」（文部科学省）と「放課後児童健全育成事業」（厚生労働省）を一体的又は連携して実施する「放課後子どもプラン」を策定してはいかがでしょうか。

また、0歳～就学前の保育に欠ける児童も欠けない児童も受け入れて幼児教育と保育を提供し、すべての子育て家庭を対象に子育て不安に対応した相談や親子の集いの場を提供する施設である「認定こども園」を設置、促進してはいかがでしょうか。

2 活気に満ち、はつらつとしたまちをつくる

～産業・経済分野～

農林業の活性化

▽米づくり

米づくりは、従来、3町歩を超えると大農家と言われ、収入も多かったものですが、近年では相当の耕作がないと収益につながらないことから、米作農家の大規模再編成による経営構造をとらざるを得ないと考えられます。

また、品種についても、古代米・五穀米が都会で老若を問わず食されていることを将来の米作の一考に加える必要があると思われます。

このため、米作にあたっては、20町歩以上の大規模農家と古代米・五穀米等の生産組合を創設してはいかがでしょうか。

▽野菜づくり

野菜づくりについては、現在のように農薬が多量に使われている商品は、色・形が良くても消費者が徐々に離れていくことが見込まれるため、今後は低農薬栽培が主になると考えられます。しかし、一方では国内各地において企業による水耕栽培や発光ダイオード栽培の台頭が今後大きく伸びるものと考えられ、従来の生産方式と併せて地域特産品銘柄の育成施策にも取り組まなければならないと考えられます。

現在、「食育」が重視され、自然食品が見直されています。自然食に近い野菜類の栽培が求められる時代が到来し、これに応える施策が要求されます。

このため、現在の野菜づくり農家と古代米・五穀米づくりを行う特種小規模農家による低農薬野菜作り生産組合を創設してはいかがでしょうか。

「発光ダイオード栽培」

電照栽培方法の一。省電力で寿命が長く、省コスト化が期待されている。

▽ブランド品の開発、出荷

匝瑳市が全国的に有名になり高い付加価値が望めるブランド品の開発、出荷を行ってはいかがでしょうか。

- ・サクランボ組合を設立し、12月～2月の出荷に向けたサクランボ（佐藤錦）鉢植えハウス栽培を行ってはいかがでしょうか。

生産組合設立場所として、飯塚農地開発畑地の一部を市が借り上げ、組合に貸与することとしてはいかがでしょうか。

- ・本市及び本地域の畜産に係る共通ブランドの育成を図るため、畜産生産組合を設立してはいかがでしょうか。

▽効率的な植木生産

植木生産については、売れ残りをなくし効率よい生産態勢を整えるため、植木の需要情報などの早期入手と、育成木の生長を見通した計画性のある生産を行わなければならないと考えます。

このため、専門家を顧問とした植木生産会議の設立を図ってはいかがでしょうか。

▽林業に伴う山林の保全

林業については、下草刈り、枝葉の間引き等を進めるとともに、土砂採取の禁止、適正指導を行うことにより里山の保全を図ることが必要であると考えます。

このため、シルバー人材センターからの派遣等による監視員等を配置してはいかがでしょうか。

商業の活性化

▽中央商店街の活性化

市内の高校生をターゲットにした店舗及びホビー関係者の展示販売店の進出を促進してはいかがでしょうか。

また、既存店の商品の宣伝販売を強化することにより新旧の店舗の特色ある配置を実現させ、地域住民はもとより都市住民の来店する商店街づくりをめざすため、商工会との連携により商店街活性化資金を導入し、開店資金としてはいかがでしょうか。

▽中央商店街の一方通行化

消費者の利便性を第一に考えた場合、店舗のすぐ前に駐車できるようにしたほうがよいと考えます。現状の2車線のままでは駐車スペースの確保は困難ですが、一方通行にすれば可能になると思われるため、実施を検討してはいかがでしょうか。

▽中央商店街以外の店舗の活性化

中央商店街以外の店舗については、観光要素を取り入れ、地元製品の直売を行い活性化を図るための支援策を行ってはいかがでしょうか。

▽地域通貨の導入

地域通貨は、使用範囲を特定の地域に限定することで当該地域における購買力が向上し、商店街をはじめ地域の活性化につながるものと期待されます。

商品券は1回の使用しかできませんが、お金のように流通が可能な地域通貨を導入してはいかがでしょうか。

「地域通貨」

法定貨幣ではないが、あるコミュニティ内などで、法定貨幣と同等の価値又は全く異なる価値があるものとして使用される貨幣である。

社会的に地域通貨がコミュニティ内で流通している例や、割引券のような役割を果たす地域通貨制度など、地域通貨の経済的効力は、地域通貨を発行しているコミュニティごとに異なる。

観光の振興

▽散策道の整備

地域再生計画等の制度を活用し、野栄地区全域と北部丘陵地域（里山）に散策道を整備してはいかがでしょうか。

散策道の整備に伴い、案内板や既存施設を利用した案内所を設置するとともに貸し自転車を置くこととしてはいかがでしょうか。

また、里山などの観光資源に着目、活用し、市内外から大勢の集客があるふれあいパーク八日市場を起点とした散策道を設定し、コース案内を設け、周知してはいかがでしょうか。

▽祇園祭への集客

八重垣神社祇園祭について、知名度抜群の地井武男さんにテレビ等の媒体を通じ広く全国にPRしていただく一方で、大手観光会社とのタイアップによる見学ツアー客の栈敷席設置、担ぎ手募集などを行うことで集客数の増加をねらい、土産品等の販売を拡張することで活性化を図ることとしてはいかがでしょうか。

▽全国太鼓大会の開催

秋のよかっぺ祭りを拡充させるため、のさか太鼓を加え、さらに全国の太鼓連を呼び集め、全国太鼓大会を併せて開催、競演させることにより集客力を高めることとしてはいかがでしょうか。

▽地元出身芸能人の活用

全国的に有名な地井武男さんをもっと大いに活用し、匝瑳市を全国にPRするべきであると思います。

市発行の観光パンフレットなどに地井武男さんの写真を掲載して市内外に広く配布することとしてはいかがでしょうか。

▽ペンション村の建設

宿泊先確保のため、海岸地域にペンション進出者を募集し、ペンション村建設を図ることとしてはいかがでしょうか。

▽フィルムコミッションの設立

地域経済及び観光振興を図るため、フィルムコミッションを立ち上げ、匝瑳市を広くPRすることとしてはいかがでしょうか。

「フィルムコミッション (FC/Film Commission)」

映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関。

現在、AFCI (国際FC協会) に加盟しているだけでも、世界 41 カ国に 307 の団体がある。それらの多くが国や州・市など自治体等に組織されており、国内ばかりでなく国際的なロケーション誘致・支援活動の窓口として、地域の経済・観光振興、文化振興に大きな効果を上げている。

[全国フィルム・コミッション連絡協議会資料]

▽現存のものを活用した施策の展開

これからはあまりお金をかけない施策を展開していただきたいと思います。山から海にかけての自然や文化、さらには今後、小学校の統合による廃校舎が生じてくると思われますので、これらの市内の現存資源を有効活用して人を呼び込める施策を展開してはいかがでしょうか。

▽観光協会の充実強化

現在の観光協会の活動は、よかっぺ祭りの実施が主となっていると思われます。

観光協会事務局を外部に移し、匝瑳市をもっと外に向ける宣伝活動などを推進することで人を呼び込み、年間経費分の収入を得るほどの活動を展開することとしてはいかがでしょうか。

▽成田空港以東に目を向けてもらえる観光施策の展開

成田空港には毎年約 3,000 万人もの利用者があると聞きます。

本市からほど近い施設において約 3,000 万人もの人たちの往来があるのは、観光面にとってはとても魅力的なことであり、このまま静観しているのは何かもったいないような気がします。

このため、成田空港の利用者が東京方面などの空港以西だけでなく、空港の東に位置する本市にも来訪し、滞在、観光できるようなユニークな施策を展開してはいかがでしょうか。

工業団地の活性化

近隣に国保旭中央病院といった大規模総合病院が立地する地理環境を活かして、製薬会社、医療機器メーカーなど医療関連企業をみどり平工業団地等に誘致し、工業の活性化と雇用の創出を図ることとしてはいかがでしょうか。

小さな起業の支援

・ふれあいパーク八日市場への新規参入条件の緩和を図るとともに、ふれあいパークや隣接する飯塚沼農村公園内においてフリーマーケットやガラクタ市などの開設を許可してはいかがでしょうか。

・地産地消の推進に加え、千葉市や成田市などの他地域において、匠瑛物産センターを開設し、本市内の企業、商店、グループの製品を陳列、販売することとしてはいかがでしょうか。

・定年退職者の経験分野に応じて人材を発掘し登用してはいかがでしょうか。

都市文化導入による地域住民との交流、創成できる新産業と地域活性化

・(八日市場小学校との統合後)米倉分校舎などを利用してホビークラフト技術を市民希望者に指導させる場を設けることとしてはいかがでしょうか。

・市内の中学校にホビークラフトクラブを設け、高等学校には設置を促進し、中学生及び高校生に技術指導を行うこととしてはいかがでしょうか(教材費は文部科学省により無料提供を受ける。)

・遊休農地を活用して市民農園を整備してはいかがでしょうか。

3 自然と共生し、快適で安全なまちをつくる

～生活環境・都市建設分野～

資源循環型社会の形成

資源循環型社会の形成は、全国的に大きな課題となっておりますが、市町村単独で行おうとしているため遅々として進んでいないのではないかと考えられます。

これには地道な市民による活動を推進していくことが重要であると考えられるため、例えば“4R+1(フォーオールプラスワン)運動”を展開するなど、資源の循環についてのより積極的なPR活動を推進してはいかがでしょうか。

「4R+1(フォーオールプラスワン)運動」

- ① R e f u s e (リフューズ) : 袋や包装紙の拒絶 (自分の買い物袋を持参し、お店の袋や包装紙をもらわない。)
 - ② R e d u c e (リデュース) : ごみの減量化 (ごみの発生を抑える。)
 - ③ R e u s e (リユーズ) : 再使用
 - ④ R e c y c l e (リサイクル) : 再利用 (再生)
- プラスワン : 再生品 (リサイクル品) の利用

社会奉仕者の表彰

自発的に社会奉仕をしている人は多くはないが、日ごろ、水路や河原の周辺を清掃している人たちがいます。そのような人たちを市で表彰するなどし、取り上げてはいかがでしょうか。

交通網の整備

- ・ 国道 296 号の野栄海岸までの延伸、早期完成を図っていただきたい。
- ・ 東京駅行き高速バスの野栄線を復活させ、全便をのさか望洋荘まで延伸することとしてはいかがでしょうか。
- ・ 特急あずさ号について、千葉駅以東の成田空港及び銚子駅直通車両の乗り入れを促進してはいかがでしょうか。

健康づくり・健康維持を視点とした総合運動公園、道路（歩道）の整備

健康づくりには、ウォーキングや軽いランニングが効果的であると思います。

このため、市民が気軽、安全にウォーキングやランニングなど各種運動ができるよう総合運動公園や歩道を整備していただきたい。

海岸地域における津波対策の強化

海岸地域は標高が 2～3m と低く、過去にも野手丘地区、堀川丘地区まで津波が押し寄せた歴史があり早急な対策が必要であると考えます。

津波時に係る避難場所の指定、周知などを早期に行うこととしてはいかがでしょうか。

「生活安全条例」の制定

市民の暮らしの安全を守るため、また、防犯組織等がより活動し易い環境を整えるため、「生活安全条例」を制定してはいかがでしょうか。

「生活安全条例」

全国の自治体に広がりつつあり、その内容は自治体によって違いがある。

犯罪防止のため、自治体、警察、事業者、住民などの連携した活動を推進することを目的として、自治体には安全なまちづくりの総合的施策を推進する責務、住民と事業者には自らの安全確保と安全なまちづくりを推進するよう努める責務をうたっているのが一般的である。

また、条例制定に伴い、監視カメラの設置等が各地で進み、常に監視されているという「窮屈さ」を感じるなどとして、条例に対する疑問の声もある。

4 個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる

～教育・交流分野～

学校教育の充実

▽国語教育の徹底、郷土教育の導入

確かな学力を身につけるためには、まず国語教育の徹底が必要だと考えます。

国語力は、全ての学科を理解するための基礎ですが、最近の子どもたちの国語力は落ちており、その向上は喫緊の課題であると思います。その上で英語力の強化、IT教育の充実が必要になってくると思います。

また、一方では、故郷の歴史教育が重要であると思います。やがて故郷に住む人、離れて住む人も故郷の話題になったとき、故郷を誇る大きな自信になるからです。

このため、特に国語教育に力を入れるとともに郷土教育を学校教育に取り入れることとしてはいかがでしょうか。

▽経済教育の導入

経済教育は、米国の小学校では既に実施されている、企業の経営戦略まで勉強するシステムです。一例として、小学校で学級新聞を発行する際、どうしたら企業が成り立つかを勉強します。学級新聞の発行に必要な紙面の割り振り技術を教えた上で広告の募集をします。その広告料で学級新聞を発行します。上級生になると米軍から広告料を取り、卒業時には出資者に配当金を分配した例もあります。

また、模擬会社の株券を発行し、半年間の会社経営経験を積むというものがあります。

教育方法はさまざまあると思われませんが、こうした経済教育（企業教育）を学校教育に取り入れることとしてはいかがでしょうか。

▽C A活動の導入

情操教育の一環として、協調の精神と豊かな個性を伸ばし、生徒の自主性や創造性を育むため、C A活動を新たに学校教育に取り入れることとしてはいかがでしょうか。

「C A (Creative Activity / 創造的活動)」

情操教育の一環。協調の精神と豊かな個性を伸ばすための人間教育の実践の場であり、生徒の自主性や創造性を育む時間でもある。一般に、通常の授業では扱わない複数の講座を設定し、その中から生徒が興味ある対象講座を選択する。

教科学習から発展させた総合的な学習を通じて、探求心を養い、豊かな感性と創造性、個性の育成を図るというものである。

▽P T AからP T C Aへ

地域住民が、学校教育に外側からの支援をするだけでなく、内側・外側の両方で参画し、地域住民がみんなで学校をつくる「共育」という発想のもと、家庭(保護者)・学校(教師)、地域社会(住民)の三者が子どもの教育について、緊密に連携した組織である「P T C A」を、市内の全小中学校に組織化してはいかがでしょうか。

「P T A」

Parent Teacher Association (保護者と教師の会)

「P T C A」

Parent Teacher Community Association
(保護者と教師と地域住民の会)

小学校の統合

小学校は、地域の実情を考慮しながら必要に応じて統合すべきであると考えます。少人数制ではなく、もっと大きな場で競争させるべきであり、統合を図れば物件費など財政支出の削減にもつながります。

このため、小規模校については、早期の統合を検討することとしてはいかがでしょうか。

手づくり給食の継続

今、「食育」が大きく取り上げられています。子どもたちには手づくりのものを食べさせることが大切です。「食」を大事にするという視点に立ち、学校給食を考えていただきたいと思います。

給食センターを統合したら規模が拡大し、はじめから手づくりは無理だという考え方に立つのではなく、子供たちには地元産の食材を使った手づくりでおいしいものを食べさせてあげようという姿勢、態勢が非常に重要ではないかと思います。

学校給食センターの統合後においても、地産地消の手づくり給食を続けていただきたいと思います。

図書館における進学コーナーの設置

学校関係者の努力により、以前に比べて改善されたとはいえ、中学生が進学校を決定する際、入手できる高等学校の情報は限られています。どのように進学校を決定するかは中学校在学中の勉強意欲ばかりでなく、高校進学後の学習意欲にも影響するととても重要なことだと思います。

このため、図書館に高校進学コーナーを設け、高校の教科書、学校要覧、学校案内、シラバス（学校の教育活動に関する詳細な計画書）、前年度体験入学時使用資料等を蔵書として配置することとしてはいかがでしょうか。

市民講師バンク制度

さまざまな経験を積んだ人や知識・技能を有する人等の市民を小学校、中学校及び高等学校のボランティア講師として招き、特別授業を行っていただくよう「講師リスト」を作成し、各学校に配布するようにはいかがでしょうか。

サッカー競技場の整備

本市には野球場は複数点在しますが、サッカー競技場がありません。最近では、野球以上にサッカー人気が高まり、サッカー人口は増えていると思われます。

このため、サッカー競技場の整備を図ることとしてはいかがでしょうか。

総合型地域スポーツクラブの設置

複数の種目が用意され、さまざまな年齢、興味・関心、体力、技術・技能レベルに応じて活動でき、質の高い指導者のもとで定期的・継続的なスポーツ活動・文化的活動を行える「総合型地域スポーツクラブ」の設置を促進することとしてはいかがでしょうか。

総合型地域スポーツクラブ

種目、世代や年齢、技術レベルといった3つの多様性を持ち、日常的に活動の拠点となる施設を中心に会員である地域住民個々人のニーズに応じた活動が質の高い指導者のもとに行えるスポーツクラブのことをいい、改めて特徴を挙げると次のとおりである。

- ①単一のスポーツ種目だけでなく、複数の種目が用意されている。
- ②障害者を含み子どもからお年寄りまで、また、初心者からトップレベルの競技者まで、そして、楽しみ志向の人から競技志向の人まで、地域住民が集い、それぞれが年齢、興味・関心、体力、技術・技能レベルなどに応じて活動できる。
- ③活動拠点となるスポーツ施設を持ち、定期的・継続的なスポーツ活動を行うことができる。
- ④質の高い指導者がいて個々のスポーツニーズに応じた指導が行われる。
- ⑤スポーツ活動だけでなくできれば文化的活動も準備されている。

[文部科学省]

5 住民と行政が協働し、市民が輝くまちをつくる ～住民協働・行財政分野～

市のホームページの充実

まちづくりの推進にあたっては、行政情報を市民と共有することが必要であると考えます。

今まで以上に積極的に市のホームページを閲覧し、生活に身近な情報や統計情報などの行政情報を得てもらうためにも、もっと内容を充実させ利用者にとって魅力ある楽しいホームページづくりに努めていただきたいと思います。

市民の声が反映できる体制づくり

▽市民参加条例の制定

従来、行政主体で各種行政計画の策定や公共施設の整備などの行政運営を行ってきた結果、計画の形骸化や施設の低利用といった問題が生じるなど、必ずしも効果的に行政運営が図られてきたとは言えない部分があると考えられます。

このため、各種施策事業の計画づくりの段階から市民の声を反映させるため、市民参加条例を制定してはいかがでしょうか。


市民参加条例

市が、①総合計画などの計画の策定・変更②市民生活に重大な影響を及ぼす施策③大規模施設等の整備・改修など、重要な施策を決定する際、市民の意見を聴き反映させることを制度化した条例。

市民参加の方法は、住民説明会やパブリック・コメント手続などがある。

※パブリック・コメント手続

行政が政策、制度等を決定する際、住民の意見を聞いて、それを考慮しながら最終決定を行う仕組み。



▽広聴及びまちづくり協議に係る機会の提供

市民の声を行政に効率よく反映させるため、「市民フォーラム21」や以前行っていた「市長への手紙」のような、市民の意見を聞く機会、まちづくりについて話し合いを行う機会を常に提供し続けていただきたいと思います。

▽市民参加に係る専門部署の設置

今後は、市民参加をより強かに推進しなければならない時代であると考えられますので、市役所において市民参加に特化した組織（専門部署）を新たに設けることとしてはいかがでしょうか。

▽市民のネットワーク

市民同士のネットワークを作り市民一人ひとりが持つエネルギーを行政や市民の福利厚生に活かすことで市の財政力以上の効果を生じさせることができると思います。

このため、市民のさまざまな活動団体、サークル、グループ、人材の情報を集約、リストアップし、公開する仕組みづくりを推進することとしてはいかがでしょうか。

ボランティア活動の充実と拡大

現在の市の経済力や財政力以上の豊かさをつくり上げるためにはボランティア活動が必要であると考えられます。

このため、ボランティアを組織化し有効に機能させていただきたいと思えます。

財政の健全化

▽歳出削減

・市民が真に必要とする施策は何であるかを見極め、必要のない施策事業は思い切って見直し、歳出を削減できるものは削減していただきたいと思います。

・本市の喫緊の課題である財政健全化のため、まず、議員定数の削減を行い、議員報酬及び期末手当の削減を図っていただきたいと思います。

また、市特別職の給与の削減を図っていただきたいと思います。

なおも財源不足の状況にある場合は、さらなる職員数の削減を行い、給与の削減を図っていただきたいと思います。その他、無駄な支出を省いていただきたいと思います。

○合併特例事業の見直し

合併特例債は有利な地方債だからと言っても結局は借金です。

後年、事業費の3割強を返済していかなければならず、さらに市の借金が増えることとなるのは想像に難くありません。

これから本格的な人口減少時代を迎える中、本当に大掛かりな施設が必要なのでしょうか。

既存の公共施設を有効活用するなど別途工夫すればどうにか足りることだと思われれます。

このため、次のとおり合併特例事業の実施は見直していただきたいと考えます。

①2本の南北連絡道路は1本としていただきたいと思います。この道路を唯一の合併記念施設とし合併記念道路としてはいかがでしょうか。

②このため、合併記念公園は造らないでいただきたいと思います。

市内には既に多大な事業費を費やした大きな公園があります。

新たにまた公園を整備するのではなく、既存の公園の費用対効果を高め、さらに利用が増えるよう努めることを優先にすべきではないかと考えます。

なお、大規模災害発生時の避難場所、仮設住宅建設場所の確保については、市内の各小中学校や他の公園などの既存施設を有効に活用すれば足りるのではないかと考えます。

③投資額の大きい給食センターの1か所集約を見直し、既存の2か所の給食センターの運営を機能的に継続させることとしてはいかがでしょうか。

④野栄中学校校舎改築事業については、建築専門家の判断により耐震性等の問題がなければ、財政健全化に目途がつくまで先送りすることとしてはいかがでしょうか。

⑤庁舎改造事業及び防災行政無線統合整備事業は、既存設備を活かす方法を当該関連業者に提案させ、既存設備の有効活用を図ることとしてはいかがでしょうか。

⑥まちづくり振興基金の造成については、その使い道に不安を覚えます。基金を造成するのであれば実効性ある施策にのみ使っていただきたいと思います。

▽財政健全化に係る住民説明会の開催

財政健全化に係る住民説明会を開催し、財政健全化に向けての市の意気込みと方策を市民に示していただきたいと思います。

▽投票所数の削減

市の人口を考慮すると投票所が多いのではないかと思います。各小学校区に1箇所ですら十分足りるのではないかと考えられますので、早期に投票所数を削減し財政負担の削減を図っていただきたいと思います。

人材育成

行財政運営を行っていく中で常に危機感を持ち危機感をバネに、職員同士が情報及びアイデア交換を丁寧に行い、それを拾い上げていく姿勢と意欲を持つ態勢を築きやすい環境を整えることで人材育成に努めていただきたいと思います。

活動記録・委員紹介

▽活動記録

	開催日時	開催場所	主な内容
第1回	平成18年9月4日(月) 午後7時～9時30分	市役所議会棟 第2委員会室	・正副委員長の選出について ・協議のテーマについて
第2回	平成18年10月3日(火) 午後7時～8時30分	ふれあいセンター 第1会議室	各種行政分野における意見 交換
第3回	平成18年11月14日(火) 午後7時～8時30分	ふれあいセンター 第1会議室	各種行政分野における意見 交換
第4回	平成18年12月12日(火) 午後7時～8時45分	ふれあいセンター 第1会議室	各種行政分野における意見 交換
第5回	平成19年1月23日(火) 午後7時～9時	ふれあいセンター 第1会議室	協議報告書(提案書)の調 製について
第6回	平成19年2月6日(火) 午後7時～8時45分	ふれあいセンター 第1会議室	協議報告書(提案書)の調 製について
第7回	平成19年3月23日(金) 午後7時～8時	ふれあいセンター 第1会議室	協議報告書(提案書)の調 製について

▽委員紹介(五十音順)

氏名	地区
うい かず お 宇井 一夫(委員 長)	野田
かた おか たくみ 片岡 工(副委員 長)	中央
かま がた かず たか 鎌形 和宜	豊和
かわ ぐち ふみ こ 川口 史子	平和
き むら まさ お 木村 政夫	中央

氏名	地区
さ どう ゆう こ 佐藤 郁子	栄
しし くら はる お 穴倉 春雄	平和
すず き しゅう いち 鈴木 秀一	椿海
みや ぎき よし き 宮崎 良喜	野田
や すみ ひろ みち 八角 広道	椿海

匝瑳市民フォーラム21協議報告書(提案書)

平成19年3月

匝瑳市民フォーラム21
